

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

音 楽		教育出版
総 評		<p>児童が主体的かつ対話的に学習できるような内容の工夫がされている。特に技能面においては、系統立てたスキルアップができるように提示されている。</p> <p>資料が効果的で、楽曲のイメージが膨らむように写真を取り上げている。</p> <p>発展的に扱う楽曲が充実しているが、内容として指導者の力量・専門性が必要となり、専科ではなく各担任が授業をしている大阪市の学校の指導の実態にあわない部分がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材が、主体的で対話的な活動を実践しやすい内容となっている。③</li> <li>○ 中学年の「学び合う音楽」については、児童に分かりやすく提示しているため、学びの幅が広がり、学習内容が深まる。③（3年P.25）</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リコーダーの導入部分では、楽器の魅力やリコーダーアンサンブルが取り上げられている。①（3年P.17）</li> <li>○ 曲想と音楽の構造がわかりやすい内容となっており、音楽のものが自然と習得できるように、選曲にもこだわっている。②</li> <li>○ 常時活動でどんな取り組みをすればよいかを紹介しており、技能面でスキルアップできる内容がはじめに入っている。③</li> <li>○ 音楽表現の工夫がしやすい内容のものが多い。④</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挿絵や写真が美しい。特に鑑賞教材での写真が素晴らしく、迫力があったり手元が写っていたりと大変効果的である。③（6年P.8）</li> <li>○ 音楽の構造が視覚的にわかりやすく配慮されている。③</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 細かく構成が工夫されており、スキルアップにつながる配列となっている。①</li> <li>○ 低学年の鑑賞では、表現と鑑賞の一体化が図られており、系統の流れがわかりやすい。⑥（1年P.48）</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4, 5, 6年生の教科書に現在の音楽家を紹介しており、学習したことが広がるように工夫されている。②（4年～6年扉）</li> <li>○ 音符の学習を楽しく取り組めるよう工夫されている。②（2年P.17）</li> <li>○ 低学年については、曲想に合った動きのある写真が多く、指導しやすい。②</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容がやや専門的で高度なものが多く、指導者の力量がかなり問われる。そのため、積み上げがないと効果が上がらない。③</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ めあて、題材の意図が分かりにくい。②</li> <li>○ 限られた授業数の中で取り組む内容としては少し難しい。③</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字が小さい。余白をもっと効果的に使うとよい。②</li> <li>○ 目次が枠内、枠外とあちこちにあり、わかりにくい。③</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 系統、単元、本時のめあてなどが一目ではわかりにくい。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽器の写真、活動紹介のイラストなどが小さくてわかりにくい。②</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

音 楽		教育芸術社
総 評		<p>児童の発達段階に応じて系統立てたねらいと内容が工夫されており、専科ではなく各担任が授業をしている大阪市の学校の指導の実態に合っている。</p> <p>年間授業時数に見合った内容になっており、指導者も取り扱いやすい内容、構成となっている。</p> <p>児童が親しみのもてる資料や楽曲を選曲している。</p> <p>共通教材の資料としての写真は、もう少しイメージしやすい写真を取り上げるなど工夫がいる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 教材（曲）が親しみやすく、曲想も児童が関心を持ち工夫しやすいものが多い。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専科ではなく各担任が教えやすい内容となっている。②</li> <li>○ 歌唱教材は、児童の実態や心情によく合っており児童が親しみやすい曲が多い。⑤</li> <li>○ 低・中学年を中心に、どの子も楽しんで旋律をつくる体験ができるように教材が工夫されている。⑤（3年P.13、2年P.27）</li> <li>○ 発達段階を考慮したわかりやすい内容の配置ができています。⑥</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 装丁が児童に親しみやすい。①</li> <li>○ 文字の大きさなどが適切である。②</li> <li>○ 共通事項が同じ配置で掲載されており、わかりやすい。③</li> <li>○ 3年生のリコーダーの運指図で、ふさぐ穴が大きくわかりやすく表記されている。③（3年P.23）</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじめに、1年間の学習が明記されており（「音楽の木」、児童が学習の流れをつかみやすく主体的に活動しやすくなる。①（各学年扉）</li> <li>○ 音楽づくりをどのように学習していくのか、わかりやすく系統立てて構成されている。①</li> <li>○ 振り返りの部分もあり、わかりやすい配列となっている。②</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 振り返りのページでは、共通事項ごとにまとめられていて、わかりやすい。めあての達成状況もわかりやすい。①（6年P.82）</li> <li>○ リコーダーの運指には指番号を表示している。①</li> <li>○ 5,6年生で表現活動を大きくとらえている資料があり、児童の興味・関心が広がる。②</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的な学習がさらにできるよう、ペアやグループで活動する内容をもう少し取り上げたい。③
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が親しみのもてる鑑賞曲、集会で扱える曲、もう少し高度な合唱曲などを取り入れたい。④</li> <li>○ 低学年では音楽あそびを楽しむだけで終わることが懸念される教材がある。指導者がしっかりねらいをとらえることができる工夫がほしい。⑤</li> </ul>
	3 外的要素	○ 写真や資料など、さらに印象的でイメージを膨らませる資料がほしい。③
	4 構成・配列	○ さらに発展的な取り扱いができる教材があれば望ましい。②
	5 資料・その他	○ 楽曲へのイメージが広がる写真や、鑑賞教材のワークシートの工夫が必要である。②